

2021年

279号

8月18日(水)

ねんきん越谷

全日本年金者組合越谷支部

〒343-0845

埼玉県越谷市南越谷2-13-49

(越労連内)

TEL・FAX 048-989-2472

E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp

2021年度役員

支部長	吉田 健治
副支部長	足立 秀機
副支部長	山本 英郎
副支部長	吉田 正美
副支部長	和田 幸雄
書記長	五十嵐 光範
書記次長	川原 利雪
書記次長	広瀬 久雄
書記次長	森 秀夫
執行委員	大野 幸雄
執行委員	栗原 三郎
執行委員	瀬川 頼子
執行委員	長谷川 昌弘
執行委員	松本 久子
執行委員	森山 久子
会計監査	川崎 由美子
会計監査	小口 文子

年金者組合越谷支部長 吉田 健治

先日(7月30日)越谷中央市民会館で2年振りに定期総会を行いました。年金者組合員になって20年、支部長を引き受けて10年、組合員の協力で楽しく活動してきました。新型コロナウイルスの拡大で年金者組合の行事や運動が困難ですが、屋外での活動や新聞「ねんきん越谷」の発行で頑張ります。年金の切り下げに反対し、最低補償年金制度の確立に向けて運動を強めます。新型コロナウイルスの影響で組合員が減少していますが、皆様の協力で仲間増やしに邁進しましょう。



新役員17名選出
一年間全力で先頭に立ちます



7月30日(金)に中央市民会館にて定員を半分にして、一堂に会した総会を2年ぶりに開くことができました。組合員232名で総会の参加者は24人、委任状は166通で総会では成立です。今年(40名)を目途に制限で会場も定員の半分(40名)を目途に開催しました。そのため来賓は宇佐美県本部執行委員長ひとりとし、その他、高橋越谷市長と6団体から祝辞をいただきました。総会では初の女性議長として3班の宮下文子さんの議事進行のもとで20年度「活動報告」「会計報告」「会計監査報告」「21年度「活動方針(案)」」「会計予算(案)」が審議され無事採択されました。又、昨年度会計を担当した12班の高木さんが亡くなられたため、新役員として長谷川さんを入れた17名の新役員が選出されました。まだまだまだコロナの感染は高いですが、高齢者のワクチン2回接種を終了させ、新しい役員体制で「楽しみ7分」の活動をしていきます。(五十嵐)

第29回定期総会
一堂に会した総会を2年ぶりに開く



点 睛

五輪開催強行が
コロナ感染爆発を招く

首都圏に緊急事態宣言を发出するにあたり、菅首相の説明に新しい対策は無く、「東京五輪の中止も考える必要があるのでは」との質問に対し、「人流は減少している、高齢者のワクチン接種が進み重症化リスクが下がっており、中止は考えていない」と無責任な発言。ベットの逼迫が逼迫すると「入院制限」とも取れる施策を発表し、国民はもとより与野党から撤回の嵐が巻き起こりました。専門家の分科会にも諮らず、官邸の一部の意見で政策決定し、反発が大きいと慌てて修正に走る、「アベのマスク」と同じ過ちを繰り返しています。今の政権は異なる意見を聞かず、意に沿わない意見を言う人を排除してきた結果、国民との感覚が乖離し、四面楚歌のお山の大将になっているのではないでしようか。

「抗体カクテル療法」という処方薬が承認されたものの、カクテル療法は発症から7日以内でないと効果が無いと言われ、又自宅療養者には投与できず、患者を入院させて検査を行い、保健所や国などの許可を得なければならぬのです。中国武漢で造った様なコロナ専門病院を各地域に造り、感染者をすぐ入院させて処置すれば、抗体カクテル療法を有効に活用できるのではないかと思います。病院に入院できないから「自宅療養」では、家庭内感染が蔓延してしまいます。「安全・安心・国民の生命を守る」とは即刻退場してもらうしかありません。「自分自身の身は自分で守る」では、なんのための政治と行政なのでしょう。今年の総選挙では、今の様な独裁的指導者ではなく、国民一人一人の生命を最優先する政権をつくらうではありませんか。最後に、東京五輪株?(変異株)が世界に蔓延しないことを願っています。(和田幸雄)

コロナに負けず、命を守り、屋外での活動を楽しみましょう!